

あ い さ つ

京都府高等学校体育連盟
会 長 渡 邊 孝
(京都府立桂高等学校長)

平成27年度京都府高等学校体育連盟「高体連誌第55号」の発刊にあたり、ごあいさつ申し上げます、

まず、加盟校、各専門部の皆様の御支援・御協力の下、本年度を無事終えることが出来ましたこと、誌面ではありますが、心から御礼申し上げます。

本年度も、本連盟では諸会議（理事・評議員会、専門委員長会議、中・高連携会議）と各種体育・スポーツ振興事業（選手派遣、大会開催、競技力向上、研究調査、広報、一般生徒対象）と、盛り沢山の事業を行ってまいりました。

とりわけ、和歌山県を中心に近畿2府4県で開催されました近畿ブロックでの全国高等学校総合体育大会では、本府におきましても6競技を開催しました。専門部を中心に多くの先生や協会関係者の方々にお世話になり、無地、成功裡に終えることが出来ましたことに対しまして心より御礼申し上げます。

本年度も冬季の全国総体が終了し、本府における全国総合体育大会、全国定時制通信制体育大会、その他の全国大会において、団体種目では陸上競技、ウエイトリフティング女子競技の優勝を含め入賞数25、個人種目では陸上競技、水泳競技（競泳・飛込）、テニス競技、ウエイトリフティング女子競技から9種目の優勝を含め入賞数は90となり京都府選手団として大活躍をしてくれました。また、男女の都道府県対抗全国駅伝競走大会でも本府高校生の活躍が目立つ大会でありました。

さて、全国高等学校体育連盟では、平成32年に東京で開催されるオリンピック・パラリンピック大会の関係から、北関東ブロックで開催予定の全国高等学校総合体育大会の開催地選定等も含めた問題が検討課題として大きく取り上げられています。今後、開催に向け方針等の検討がなされ、開催地等の決定がなされると聞いております。各専門部におかれましても、事務局と連携を密にし、取り組みいただきますようお願いしたいと思います。

最後になりましたが、本連盟に対し御協力・御支援をいただいております関係のみなさまに重ねて御礼を申し上げまして、発刊のあいさつとさせていただきます。